

粉じん爆発・火災安全研修【初級】

初めて「粉じん爆発・火災」に関する安全研修を受ける方を対象としています

日時：平成21年11月12日(木)～13日(金)

場所：独立行政法人 労働安全衛生総合研究所 <http://www.jniosh.go.jp>

〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-4-6 TEL:042-491-4512

西武池袋線 清瀬駅下車「南口2番バス停」より西武バスにて「東京病院北」下車(所要時間約5分)

(詳細は裏面案内図をご覧ください。)

講師：	東北大学名誉教授	榎本 兵治 氏
	東京大学大学院工学系研究科 教授	土橋 律 氏
	(独)労働安全衛生総合研究所(実習・実験)	研究員 各氏
	味の素(株)	中田 真輔 氏
	住友化学(株)	田中 則章 氏
	(株)環境衛生研究所	島村 英生 氏
	(株)日清製粉グループ本社	加納 理 氏
	味の素(株)	土屋 仁志 氏
	(独)労働安全衛生総合研究所	山隈 瑞樹 氏
	ファイク・ジャパン(株)	永田 憲司 氏
	日本フェンオール(株)	鉾田 泰威 氏
	ホソカワミクロン(株)	向河原 栄 氏
	(株)大川原製作所	山本 仁巳 氏
	赤武エンジニアリング(株)	早野 敦 氏

近年、新たな機能性を求めて新しい素材が開発され、また高機能性を求めて微粉化が進行するなど、粉じん爆発・火災の危険性が増大しています。また、ひとたび爆発・火災事故を起こすと悲惨な人的被害に繋がります。更に生産施設等の壊滅で、企業の存続に影響を与えかねない状況に置かれたり、市場占有率の高い企業では、事故によって社会全体の活動にまで影響を及ぼす事態も懸念されるなどで、企業の社会的責任が厳しく問われるようになってきています。

このように、爆発・火災事故の撲滅を目指すことは企業の社会的な責任ですが、特定の人々の知識や認識だけでは、いま以上の安全レベルに到達することはきわめて困難です。このためには、高度専門家の養成だけでなく、現場作業者や技術者のもとより、広く一般社員の、安全に対する認識や安全を迫る姿勢を高めることが、極めて大切だと考えます。

また、メーカーにおいても、爆発事故の悲惨さ、発生したときの社会的責任、対策技術とその経済性等々についてユーザーにきちんとした説得力のある説明ができる専門家の養成や、経済性の高い安全装置の設置を積極的に推奨できる人材の確保は死活問題になりかねません。さらに、メーカー、ユーザーを問わず社員全体の、安全に対する高い関心と認識が、企業の信用度を高めることになると考えます。

そこで、業界の安全認識の底上げと、粉じん爆発を基礎から系統的に学ぶ機会として、このたび初級者を対象に粉じん爆発火災安全研修を実施することにしました。当安全研修は、(社)日本粉体工業技術協会と(独)労働安全衛生総合研究所が共催で実施し、内容もこれまでに類を見ないほど充実したものになっています。多くの方々にご参加いただき、安全の確保に役立てていただくことを念願しております。

多数の皆様にご参加下さるよう、ご案内を申し上げます。

主催：(社)日本粉体工業技術協会 粉体工業技術センター教育部門

(独)労働安全衛生総合研究所

企画：(社)日本粉体工業技術協会 粉じん爆発委員会

開催要領

日時：平成 21 年 11 月 12 日(木) 9:10～18:00、 13 日(金) 9:10～17:00

場所：東京・(独)労働安全衛生総合研究所 <http://www.jniosh.go.jp>

〒204-0024 東京都清瀬市梅園 1-4-6 TEL：042-491-4512

プログラム(都合により講師等の変更がありうることをご承知おきください。)

1 日目：11 月 12 日(木)

9:10 9:20 挨拶 (独)労働安全衛生総合研究所 理事長 前田 豊 氏
(社)日本粉体工業技術協会 粉じん爆発委員会 委員長 土橋 律 氏

午前

9:20 9:50 東北大学名誉教授 榎本兵治 氏

(1) 粉じん爆発のデモンストレーション(1)

『粉じん爆発の恐ろしさの啓蒙』

・ビデオ等の映像による粉じん爆発の脅威の体験

9:50 10:30 東京大学大学院 土橋 律 氏

(2) 粉じん爆発の基礎知識

『爆発現象と用語の理解』

・ 燃焼の 3 要素

・ 粉じん爆発の発生要件

・ 粉じん爆発の特徴と注意点

・ 爆発特性値 (MSDS 危険性データとその見方)

<移動・ブレイク 10 分>

10:40 12:10 (独)労働安全衛生総合研究所 スタッフ

(3) 粉じん爆発のデモンストレーション(2)

『粉じん爆発の脅威の体験実習・実験』

・ 爆発火炎の観察と爆発下限濃度、爆発圧力、爆発
指数の測定

・ 火花放電の大きさとエネルギーの観測・観察体験
と最小着火エネルギーの測定

・ 静電気危険性の体験実習

<昼食 50 分>

午後

13:00 13:40 東北大学名誉教授 榎本兵治 氏

(4) 事故事例と統計からみた危険性

『映像と資料による危険な状況の理解』

・ 危険な粉じんの種類

・ 危険な工程 / 状況 / 装置

・ 危険な開始 / 停止操作と臨時作業

13:40 14:50

(5) 粉じんの種類別危険性と対策

『業種別にみた安全対策とヒヤリ・ハット』

・ 穀物 / 飼料 / 食用農水産加工品

味の素(株) 中田真輔 氏

・ 化学合成品 / 医薬原料 住友化学(株) 田中則章 氏

<コーヒーブレイク 15 分>

15:05 15:40 (株)環境衛生研究所 島村英生 氏

(6) 関連法規、規格、技術指針

『法体系と関連法規、責務の理解』

・ 法体系と法規制の目的

・ 労働安全衛生法 (事業者と労働者の責務)

・ 安全衛生管理規程 (社内規程)

・ 技術指針 ・ 国際動向

15:40 17:35

(7) 防災安全推進体制と粉じん爆発安全対策への

取組み 『実際の取組例の理解』

・ 事例その 1 (株)日清製粉グループ 本社 加納 理 氏

<ブレイク 10 分>

・ 事例その 2 味の素(株)

土屋仁志 氏

・ 事例その 3 住友化学(株)

田中則章 氏

17:35 18:00 補講 質疑応答

2 日目：11 月 13 日(金)

午前

9:10 10:30 東北大学名誉教授 榎本兵治 氏

(8) 粉じん爆発の基礎知識

『粉じん爆発・火災に関する基礎知識の習得』

・ 爆発危険性評価の考え方

・ 爆発危険性の相対評価

・ 爆発特性値と影響因子

・ 堆積粉じんの火災

<ブレイク 10 分>

10:40 11:50

(独)労働安全衛生総合研究所 山隈瑞樹 氏

(9) 静電気の発生と防止対策・防爆電気機器

『静電気の基礎と対策に関する知識の習得』

・ 静電気放電の形態と危険性

・ 静電気特性の測定法

・ 静電気安全対策

・ 事例解析

・ 防爆電気機器

<昼食 60 分>

午後

12:50 14:00

(10) 爆発防止・被害軽減対策

『対策技術と装置の映像紹介による理解』

・ 爆発圧力放散設備(バント) / 消炎型爆発放散設備

ファイクジャパン(株)

永田憲司 氏

・ 爆発抑制装置 / 爆発伝ば遮断装置

日本フェンオール(株)

銚田泰威 氏

<ブレイク 10 分>

14:10 16:15

(11) プロセスごとの危険性と安全対策

『各種工程におけるヒヤリ・ハット』

・ 粉碎 / 分級工程 ・ 集じん / 分離工程

ホソカワミクロン(株)

向河原栄 氏

<コーヒーブレイク 20 分>

・ 混合 / 造粒工程 ・ 乾燥工程

(株)大川原製作所

山本仁巳 氏

・ 輸送 / 供給 / 排出 / 貯蔵工程

赤武エンジニアリング(株)

早野 敦 氏

<ブレイク 5 分>

16:20 17:00 補講 質疑応答

参加申込要領

定員：60名(ただし定員になりましたら、締め切ります。)

参加費：(いずれも1名様分。テキスト、昼食代および消費税込み)

(社)日本粉体工業技術協会会員	50,000円
一般	60,000円

(社)日本粉体工業技術協会会員で、特別協賛金納入の会員は25,000円
【一日のみの受講は、受け付けておりません】

申込方法：(社)日本粉体工業技術協会のホームページ上から、またはFAXにてお申込みください。
(FAXの場合は、必ずE-メールアドレスをご記入ください)

参加費は下記口座にお振込みください。

(お振込みいただいた参加費はお返しできませんので、欠席の場合は代理の方のご参加をお願いいたします。)

取引銀行 三井住友銀行 京都支店(普通預金 No.7874956)

シヤ)ニホソフソタイウキ'ヨウキ'シ'ユツキヨウカイ

口座名義 (社)日本粉体工業技術協会

(尚、誠に勝手ながら振込手数料は貴社にてご負担ください。)

申込書受付け後、「受理書」はE-メール送信いたします。

申込締切日：平成21年11月5日(木)

問合せ先：(社)日本粉体工業技術協会 本部

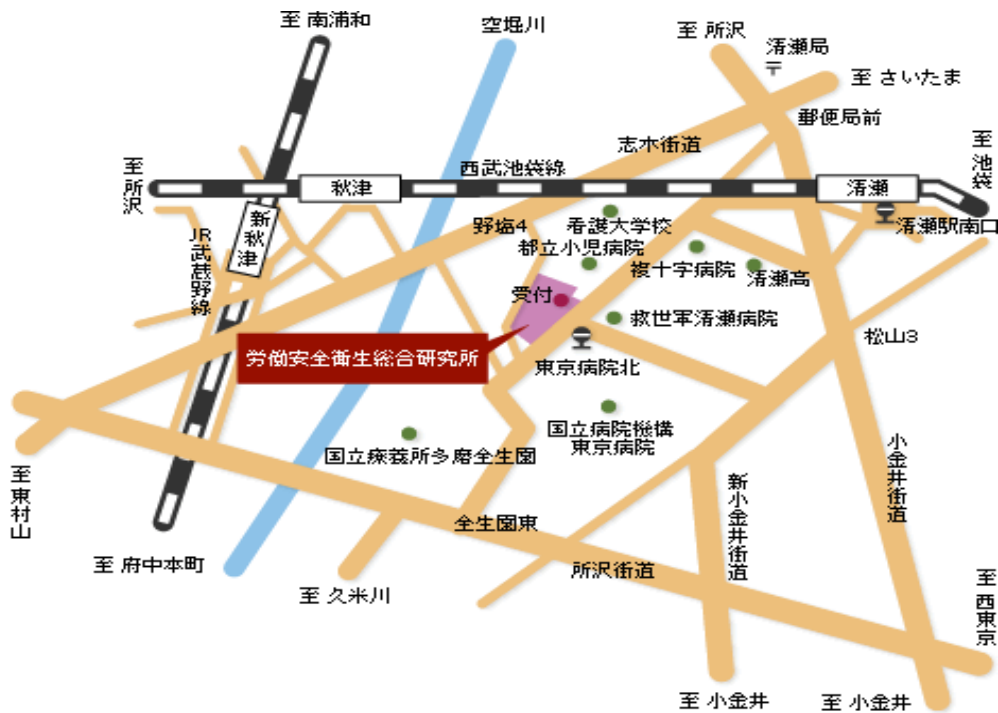
〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町181(第5キヨビル)

TEL:075 354 3581・FAX:075 352 8530

E mail: iuchi@appie.or.jp

会場案内図

労働安全衛生総合研究所(案内図) <http://www.jniosh.go.jp>



宿泊地は 近くは久米川(バスで約15分) 他は池袋(バスと西武線で約40分)等が候補地です。

参加申込書

宛先：FAX 075-352-8530 (社)日本粉体工業技術協会 本部
粉じん爆発安全研修 係

(TEL : 075-354-3581)

2009 粉じん爆発・火災安全研修【初級】		参加申込書
		平成 21 年 月 日
会社名・事業所名：		(下記の該当するところに して下さい) (社)日本粉体工業技術協会 協会(特別協賛会員) 一般
所在地 〒		
参加者(ふりがな) 氏名	所属/役職、TEL、FAX、e-mail	
	所属/役職 TEL : FAX : e-mail :	
	所属/役職 TEL : FAX : e-mail :	
	所属/役職 TEL : FAX : e-mail :	
参加費送金額：¥		

(複数でお申込みの場合は代表の方の連絡先、参加者以外で連絡窓口がある場合はその方の連絡先を下記にご記入ください。)

事業所・部門名・職名：

氏名：

TEL：

FAX：

e-mail：

協会 備考欄：

【個人情報の管理について】

頂いた情報については、(社)日本粉体工業技術協会が責任をもって管理し、協会が開催するセミナーなどのお知らせに必要な範囲内で利用させていただきます。